親子クイズ

ご家庭で話し合って答えてください。答えは今月号の広報に出ています。

■**もんだい**・六月定例市議会では前回の○月議会の当初予算につづき、補正予算が一部修正された。

■**しめきり**・八月十六日（月）

■**おくり先**・〒783　南国市大埇・南国市役所内　広報委員会親子クイズ係

■答えのハガキには必ず**お歳・職業**を書いてください。

■**しょうひん**・特賞千円＝三人
残念賞（記念品）＝十人

第五十八回正解者発表

■**こたえ**・㊥㊥保育所でした。

■**特賞**・千円＝三人
野村正明さん（物部）
水田二男さん（久礼田）
中村要二郎さん（下野田）

■**残念賞**・記念品＝十人
中田倫代（稲生）和田千勢（久礼田）元吉幾子（田村）岩原明美（白木谷）戸田由美（領石）高島俊二（大埇）久米とめ（久礼田）松岡数枝（稲生）坂田里香（大埇）高橋伸輔（植野）

南国たがつくるページ

お返しをやめましょう

藤本　茂樹（広報委員・田村）

世の中が段々暮らしにくくなった。色々難かしい問題は多いが、その中で一番切実なのは経済であろう。何が原因かは知らないが、出る金が多すぎる。

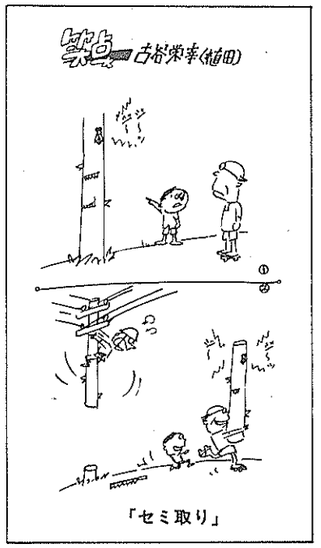
その中の一つにお包みがある。婚礼、年祝い、新築落成、開店祝いなどいくらでもある。婚礼のお祝いには、五千円くらいが相場のようである。酒なら一級三本くらいは持って行かないと恥かしい。一カ月に五回もお包みが出るときがある。家の経済にひびかすなと言うが無理である。このままでいくとお包みの相場は上がっても下がることはないだろうから、お祝いの案内状がくると寒気がするようになりかねない。

また、お包みを頂いた側も決して楽ではない。お返しに何をしようかと頭を痛める。お返しにもらった陶器類の箱が、山の如くなり困っているのはどこも同じであろう。何かの催しのときに寄附することがあるが、その場に贈った人が居れば気分を害するだろう。

このさい、思い切ってお返しを全廃したい。広報委員会、市連合婦人会、市農協婦人部は全面的にこの運動を押し進めます。広報委員は、今後自宅での祝宴、その他今までお返しをしていた行事を行う場合、お返しを一切やめます。南国市の皮切りとして実行いたします。お返しがなければ、お包みの額も減して頂くのが当然です。

お隣りの野市町は、町がお返しをやめる主旨のパンフレットを案内状に同封しています。

今後たびたび、広報紙を通じてこの運動を進めますので、よろしくご協力くださるようお願いいたします。



「セミ取り」

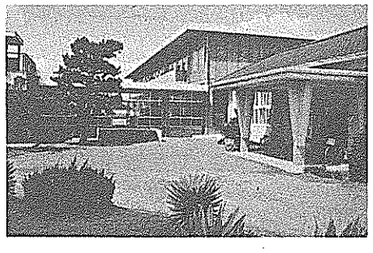
詩

あなた

わたしに声かけるの
それはあなた
あなたは今どこにいるの
お願いだからわたしの側まで来て
わたしにいたずらするの
それはあなた
あなたは今どこにいるの
お願いだからわたしの前まで来て
あなたは少しいじわるだけど
今のわたしはとっても明るいのね！
今そこで物音さしたの
それはあなた
あなたは今どこにいるの
お願いだからわたしの側にいて

川久保尚亮（金地）

学校めぐり



★日章小学校★

私の学校は、香長平野のまん中にある、日章小だ。校舎は、三つになっている。南と北の校舎と、建ったばかりの新校舎とくっついて、校舎がある。私たちは新校舎の二階になっている。下は特別教室だ。

「これから、水曜日のテレビ朝礼を始めます。」という声で始まるテレビ朝礼は、わたしたちの学校の特色の一つだ。

そのテレビ朝礼は、五年と六年の委員の人がやる。アナウンサーは、六年の女子がやる。カメラを

原稿募集

広報なんこくでは、あなたの投稿をお待ちしています。

市政に対する建設的なご意見、女性のほのぼのとした随想「つくし」欄、小学・中学・高校生のみなさんの詩や作文、マンガなどもどうぞ。

また、地域の話題や楽しい行事などもお知らせください。

公民館活動はどうあるべきか

山崎　忠雄（稲吉公民館長）

健康マラソンも歩調をそろえて

健康増進と老化防止の特効薬は足を鍛えることである、と医師も推奨しています。最近ほとんどの人が車用族化して、足の鍛練は自然に忘れられているのが実体です。私たちの部落には、この点にめざめて、毎朝、単独で、あるいは夫婦連れ、子供連れで走っている人が何人かいます。

何事でも単独で持続することは強固な意志を必要としますが、これがグループとなると比較的に続けやすいものです。老若男女が集団となって声をかけ合いながら走っている図は、見るからに明るい健康な部落のシンボルとなることでしょう。

そろう足はずむかけ声親も子も
朝明けをつきて
一日が始まる

せっかく何人かが実行している健康マラソンを、部落の習慣として集団化してゆくと、保健と人の和の二重効果があがるでしょう。もちろん強制でなく自由参加の形で次の構想を考えています。

(1)季節に応じた時間を決める。
(2)部落内一巡の経路を決める。
(3)誰れでも、どこからでも参加し、どこでやめてもよい。

実質効果の顕著なこの行事は、あまり抵抗がなく参加者が増えてくるのでは、と期待しています。

特に、これが実現しますと、本来の目的である健康と老化防止の他に、

(1)共通の目的をもつ者の近親感から生れる人間関係の深まり
(2)一日の生活の起点が定まり、生活のリズムができる
(3)部落を一巡することで、部落全体の生活環境が認識される

などの副効果が生れて、融和の促進につながりましょう。

部落の行事には
なるべく子供の参加を

次の世代を背負ってもらう子供のしつけや習性は、家庭でも部落でも、また市や国でも大きな関心事であります。

行事の性格、時間帯、参加能力等の面からむりなく参加できる部落の行事には、なるべく子供を参加させることがよいと思います。例えば、次のようなものが考えられます。

(1)清掃作業には子供もほおきを持って参加し、道路を掃いたり、大きいゴミを拾ったりする。
(2)健康マラソンには親子で参加する
(3)神祭の余興やレクレーションに参加させる
(4)体育行事には子供を加えた種目を増やす
(5)日常の挨拶の習慣も子供のほうから指導していく、などです。

このようなことは、学校、子供会、家庭の理解と協力が得られると案外実現しやすい事だと考えます。また子供の参加は、親の関心が深まって部落ぐるみの雰囲気づくりへの近道ともなりましょう。

以下次号

南国俳壇

クローバーばけつ倒して仔牛臥す　岩貞房子（波俳句会）
みたらしの深井の釣瓶額の花　苅谷吉水（〃）
若竹に文字かく指へ粉のつきぬ　大谷奚寿（〃）
白むくげ翳をもたざる敷祖来る　吉田常光（岩村句会）
晩酌の灯に喉動く枝蛙　大島新草（〃）
黒揚羽翔ち石仏の耳動く　北岡高子（〃）
編糸の真白き棕梠の蠅叩き　吉川　節（梵鐘会）
国分寺をめぐる青田の日々濃ゆき　吉川　妙（〃）
風蘭にかそけき風の生まれけり　林　広裕（〃）

南国歌壇

いつも来て見上ぐる棟の上の空
白雲は来たりたちまちに去る
常通寺島　橋田井波

蝉しぐれとぼしきままの梅雨明け
に　不作かも知れぬ稲田見廻る
岡豊町　葛目治子

ひめゆりのねむれし塔にひびけよ
と　追悼演奏蝉吟に負けじと
里改田　楠瀬節子

するのは、六年と五年の男子になっている。ほとんど先生の力を借りず、みんなで協力してやっている。テレビにうつるほうは、全校にうつるのだから、何か有名みたいでいい気分だ。そうじのチャイムが鳴った時、レコードを鳴らすのも、下校の時こくを伝えるのも放送委員会だ。音楽室も、テレビをとる時に、使うのにライトなどを、たくさんつけている。音楽室にあるステレオも西日本一のものらしい。たくさんの設備がついている学校だ。

児童代表委員会は、二週間に一回やっている。六年が議長になって行う。週の目標なども決める。例えば先生のほうから「講堂の使い方が悪い」と言われたら、どうしたらいいか、児童代表委員会で決めるようになっている。児童で力を合わせてがんばっている。

人数は、三百五十人くらいだ。一年から六年まで、二組ある。その中で四年が、いちばん少なくて五十人ぐらいで、六年がいちばん多くて七十人くらいだ。校区もわりと広いようだ。

きょうも強い日ざしをあびてサルビアの花がまっ赤にさいている。だれがきても「日章小は、きれいにできて、りっぱだ」と、言われるような学校にしたい。

六年　**小笠原恵理**